

整理番号	HT25058	分野	医歯薬学	(キーワード)	薬物相互作用
------	---------	----	------	---------	--------

城西大学

麻酔薬の効果と薬物相互作用を観察しよう

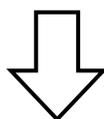
先生(代表者)	木村 光利(きむら みつとし) 大学院薬学研究科・助教				
自己紹介	主に肝再生現象の仕組みの一端を解明する目的で、自律神経系と細胞増殖因子との薬物相互作用について培養細胞や実験動物を用いて薬理的(様々な薬を用いて、生体の仕組みを考えます)に研究しています。今回は、麻酔薬と色々な薬物との相互作用を観察します。ひらめき☆ときめきで、皆さんに会えることを楽しみにしています。				
開催日時・ 主な募集対象	平成 25 年 9 月 29 日(日)	(対象)	高校生	(人数)	42 名
集合場所・時間	城西大学薬学部 10 号館 1 階 10-102 室		(集合時間)	9 時 00 分	
開催会場 (集合場所)	城西大学薬学部 10 号館 1 階 10-102 室、6 号館 4 階 6-410 実習室 住所: 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1 アクセスマップ: http://www.josai.ac.jp/access/				
内 容					
<p>近代麻酔は、エーテルという揮発性の液体の薬物から始まりました。これを吸入することにより、外科手術が可能になり、多くの命が救われるようになりました。さらに、最近よく行われる静脈麻酔薬と吸入麻酔薬を併用する麻酔法は、麻酔薬の相互作用に基づいたものであります。</p> <p>今回は、マウス(実験動物)にこれらの全身麻酔薬を投与し、その効果を観察します。そして、麻酔と麻酔薬、さらに薬物間の相互作用(2つ以上の薬物が作用を及ぼしあうこと)について、生命倫理も含めて、学習します。</p> <p>具体的には、実際に、マウス(ハツカネズミ)を用いて、中枢神経(脳)に影響を及ぼす静穏薬や麻酔薬を投与(注射など)したときの行動(静穏作用、高位中枢抑制による興奮、筋弛緩、中枢抑制作用など)を観察します。これらの実習により、マウスの行動に影響を与える『くすり』の作用を評価すること、即ち、『くすり』の作用の特徴、『くすり』の投与量(g, mg, μg)と効果の強さの関係および投与方法(吸入麻酔薬と静脈内注射麻酔薬)、および動物実験の意義などについても考えます。</p>					
スケジュール			持 ち 物		
9:00~ 9:30	受付(10号館玄関ホール)		筆記用具		
9:30~10:00	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)		※昼食、白衣、マスク、手袋		
10:00~11:30	講義「麻酔と麻酔薬とは！」(10号館1階10-102室) (途中10分休憩)		(ラテックス製)は、こちらで用意します。		
11:30~13:30	昼食・キャンパス見学 (模擬薬局・薬用植物園・美術館などを自由見学)		特記事項		
13:30~16:00	実習「麻酔薬の効果と薬物相互作用を観察しよう」 実習の注意と実習内容の説明 (6号館4階6-410実習室)		マウス、薬品やラテックス手袋などを使うため、化学物質や動物の毛にアレルギーを持った受講生は、事前にお知らせ下さい。		
16:30~17:00	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)				
17:00	終了・解散				
※ 実験の進行具合により、スケジュール、終了時間は前後する可能性があります。					

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	城西大学大学院薬学研究科臨床薬理学講座・木村光利
住所：	〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1
TEL 番号：	049-271-7316
FAX 番号：	049-271-7984
E-mail：	mkimuraj@josai.ac.jp
申込締切日：	平成 25 年 9 月 14 日(土)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
木村 光利	H13-14	若手研究 B	14771291	初代培養肝実質細胞の増殖に影響を及ぼすアドレナリン作動性調節機構に関する研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。